

平成20年度アイヌの伝統的生活空間の再生に関する事業実施計画骨子（素案）

第1章 基本的事項

1 事業の目的

白老地域及び平取地域において、平成18年度から実施している事業の検証・評価を踏まえながら、「アイヌの伝統的生活空間の再生事業の中期的展開方針」で示した各地域の目指す姿の実現に向け、自然素材の試験栽培、伝承活動等への支援や運営管理体制の整備等を図る。

2 推進体制

(1) 基本方針

- 全体監理：アイヌ文化振興等施策推進会議
- 事業主体：アイヌ文化振興・研究推進機構
- 実施主体：白老町、平取町、アイヌ文化伝承活動実践者、アイヌ文化に関わる団体・個人

(2) 事業実施方法

- 財団における直接実施
- 内容に応じ適切な団体等へ委託
- 学芸員、アイヌ文化伝承活動実践者などの指導・協力

(3) 推進管理

- 事業実施の進捗状況、事業実施内容の検証
- 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構に学識経験者及び地元関係機関等からなる会議を設置
- 財団内部の所要の手続き（理事会、評議員会、事業運営委員会）

3 留意事項

- 植栽、試験栽培
 - ・イオル再生等アイヌ文化伝承方策基礎調査等を踏まえた地域の生態系への配慮
 - ・植栽物への食害防止
 - ・空間の適切な維持
 - ・過年度植栽物の肥培管理
- 空間の整備
 - ・地元関係者、アイヌ伝承活動実践者、有識者等の意向等を踏まえた実現可能な整備方針の策定
 - ・関係法令等の遵守
 - ・予算、整備期間等を考慮した段階的な実施

○土地の使用

- ・長期間活用可能な安定した地権者の土地の確保
- ・町有地等の公有地の無償提供
- ・使用貸借契約の締結

○規制緩和措置等

事業実績及びアイヌの人々の意向を踏まえた検討

4 関連事業の活用

財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構が実施する他の事業ほか、関連事業の活用

5 弾力的対応

地域事情を踏まえ、所要の手続きを経て対応

6 事業の検証と評価

○検証と評価の手法の確立

○財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構に学識経験者及び地元関係機関等からなる会議を設置

○財団内部の所要の手続き（理事会、評議員会、事業運営委員会）

第2章 地域計画

第1部 白老地域計画

1 白老地域イオルの目指す姿

- ・ 伝承者の育成や、普及啓発活動を行う「教育（学習）型」イオルの指向
- ・ 管理運営体制を充実

2 基本の方針

- 全体管理：白老イオル事務所（管理運営、保育管理、活用管理）
- 協 力：白老地域の支部、博物館、役場等、関係者

3 事業実施計画

（1）空間形成事業

① 植栽事業

- ・ 植栽地区の維持管理：陣屋地区、ポロト自然休養林地区、ポロト地区
- ・ ポロト地区：ポロト湖周辺を白老イオルの拠点とすることから、植栽地区へ用途変更
- ・ ポロト自然休養林地区：森林管理所との協定に基づき、活動計画を策定し維持管理を実施

② 試験栽培

- ・ 森野地区：自然素材の確保、苗木の成長記録・種子の採取、苗木の移植
有用・薬用植物の試験栽培
収穫物の伝承者育成事業、体験交流事業での利活用
- ・ ヨコスト地区：海浜植物の試験栽培
過去の実績を踏まえ試験栽培地区に用途変更

③ 空間整備（コタンの再生）

- ・ コタンの再現方針の策定
- ・ 再現方針を踏まえたチセ等の復元

④ 調査研究

白老地域海岸部における海浜植物の植生状況調査の実施

（2）空間活用事業

① 伝承活動事業

1) 伝承者育成事業

- ・ アイヌ文化に関する総合的な知識や教養を身に付ける伝承者の育成

2) 体験交流指導者育成事業

- ・体験交流で適切な指導ができる専門的知識を持つ指導員の養成

② 体験交流事業

- ・白老イオル体験交流事業推進協議会が主体となり地元関係機関が一体となって実施
- ・次世代を担う子供達を中心
- ・海、山、川など様々な空間の活用
- ・地域内の各種事業と連携し年間を通じた実施
- ・伝統的なアイヌ文化の学習と今日の価値観からの評価による理解の深化

(3) 空間の管理運営

① (仮称) 白老イオル事務所の運営

- ・イオル事業の運営拠点
- ・アイヌの人々等の学習の場
- ・アイヌの人々が中心となった管理運営

② 管理運営事業

- ・イオル事業の総合的管理
- ・地域における事業の全体的管理
- ・関係機関、団体との連絡調整、指導、助言
- ・自然素材採取地区の管理運営

第2部 平取地域計画

1 平取地域イオルの目指す姿

- ・ 広大なイオルの空間を設定し、イオル型複層林の再生などを行い、活動の深化を目指す「活動型イオル」を指向
- ・ 自然素材の持続的な採取等を可能とするイオル型複層林の形成
- ・ イオルの森の拠点となるコタンでの伝承活動の実践

2 基本的方針

- 全体調整…沙流川流域イオル構想平取町推進協議会（平取町関係機関、アイヌ文化伝承活動実践団体の代表者等）

3 事業実施計画

（1）空間形成事業

① 空間の設定

- ・ 平取地区内の町有林と河川敷地をイオルの森として設定
- ・ 自然素材の現存量等調査の実施
- ・ 循環的利用が可能な育林方針の策定

② 試験栽培事業等

- ・ イオル型複層林への誘導手法の確立
- ・ 下層植栽予定樹種の試験栽培による栽培技術の確立
- ・ イオル型複層林試験地における植栽と播種による育林技術の確立

③ 空間整備（コタンの再生）

- ・ 伝承者、専門家等の協力を得てコタン復元図の作成
- ・ チセ復元に必要な自然素材の確保（山出し）
- ・ 復元図に基づくチセの復元
- ・ 工程の折々での伝統儀礼の実施
- ・ 一連の工程と伝統儀礼の記録

（2）空間の管理運営

① 空間の管理運営

- ・ イオルの森管理事務所の設置と運営に関する調査検討
- ・ 管理要員の養成と配置の検討

第3章 連携促進事業計画

1 事業の目的

- ・白老、平取それぞれの地域が地域の特性を活かした事業を展開
- ・両イオルの特性と差異を踏まえた適切な機能分担
- ・両イオルの連携促進による、相互補完と事業の相乗効果
- ・周辺地域を含めた、各種課題の解決や取り組みの更なる充実

2 基本の方針

○事業主体 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

○基本の方針

- ・両イオルの特性を分析し、具体的連携方策の検討を行い、連携促進の基礎を構築
- ・イオル事業実施地域以外への情報提供による情報の共有化

3 事業実施計画

(1) ライブラリー（電子情報システム）の充実

○ライブラリーの充実

- ・各地域の伝統文化及び伝承者、活動団体、文献情報の収集
- ・アイヌ語地名、遺跡・史跡、景観などの現況や実態を調査

○ライブラリーの活用

伝承活動等への利活用

(2) ネットワークのあり方に関する調査

地域間の連携促進（ネットワーク形成）のため、事業実施地域間における情報交換、事業実施地域以外への情報提供を実施し、各地域の特性を分析

- ・白老地域、平取地域でのネットワーク会議開催（年2回）
- ・伝承者を始めとする人材交流
- ・アイヌ文化に関する情報の共有による各地域の特性の分析
- ・諸規制、規制緩和等に関する調査、検討